

事例1 勤怠システムと給与・会計の連携

- 業種: 飲食業、雑貨販売
- 支援機関: 野州市商工会



課題

紙ベースで勤怠を収集し、給与計算も手作業で行っていたため、集計に多くの時間を要していました。また、手入力による作業が中心であったことから、入力ミスや計算誤りが頻発し、業務効率と正確性の確保が大きな課題となっていました。



解決策

マネーフォワードを導入し、勤怠システムの構築を段階的に進めました。勤怠データを給与計算システムおよび会計システムと自動連携させることで、労働基準法に基づく36協定の作成・管理の適正化を図りました。

さらに、銀行口座やクレジットカードとのデータ連携も実施し、日々の入出金管理や経費処理の自動化を実現しました。これらの一連の取組により、勤怠・給与・会計を統合した一元管理体制を構築することができました。



成果

従業員が勤怠システムへ正確に出退勤データを入力することで、勤怠管理の精度が向上し、集計作業も瞬時に行えるようになりました。その結果、集計に要する時間が大幅に短縮され、給与計算における入力ミスもほぼ解消されました。

また、会計システムとの連携により通帳やクレジットカードのデータが自動で反映されるようになり、手入力作業の削減によってミスの発生も抑制されるとともに、全体的な業務効率が大幅に向上しました。

